

3学年通信

Dreams come true

山形県立米沢興譲館高等学校

3 学年通信 No.72 通算 252 号

2018. 1. 9 (火) 可能性 ∞

新年の抱負 エントリー No.27 2018/1/5 PM 13:06

2018 年新年おめでとうございます。いつも娘が大変お世話になっております。

昨年よりも提出が遅く、締切間際でようやく発奮するタイプ。たぶん、わが子も同じタイプなのでしょう（笑）昨年、箱根駅伝の感想を書きました。今年は何を書こうか、Y 山主任の負担を考えると短くコンパクトに、という思いもあったのですが、やはり長文駄文、失礼いたします。

早稲田大学出身でもないですが、早稲田大学を応援してしまいます。臍脂色が米興をイメージさせるからなのでしょう。青学（特に橋間くん）も東洋も良かった、順天堂の花澤くんや、駒沢の工藤君など様々なドラマがあったんですが、早稲田一般受験組と言われる谷口くん（10 区）の魂の走りと、それをゴールで待つスポーツ推薦で長距離部主将の安井君の涙が特に印象的でした。

ともに 4 年生。2 人の苦労した環境は全く違うと思う。かたや主将でタイムを求められ、チームの結果に責任を負わされ。かたや三大駅伝に一度もエントリーもしたことの無い長い 2 軍暮らし。どちらが大変だとかそんなことは関係なく、4 年間苦楽を共にし、最上級生としての責任を果たし、その背中を後輩に示す。谷口君は抜かれそうになりながらも粘りの走りで持ちこたえ、ゴール目前では逆に前の選手を追い抜き 3 位でゴール。地道な努力が花開いた瞬間、そのことを誰よりもわかっている主将の安井君、涙をこらえようとしめないその姿、美しすぎる。

大好きな中島みゆきさんの歌に「ファイト」という歌に、「たたかう君の歌を、たたかわない奴らが笑うだろう、ファイト！」というフレーズがあります。「受験に挑戦出来るという権利」は誰しもが持っているものではなく、3 年間ひたむきに頑張ってきたからこそそのチャンスなんだと思います。美しい。そのチャンスに、3 年間苦楽を共にした仲間と一緒にたたかってくれる。こんなに勇気づけられることはないんじゃないでしょうか。その姿や背中が後輩の道しるべとなり、跡を継いでいく。それが伝統、それが米興の素晴らしさ。いい高校です。結果を恐れず、努力している自分を褒め称え、努力の余地のあることを卑下することもなく、ただひたすらに進んでほしい。

1 月 3 日、高校の大好き仲良し同級生とお酒を酌み交わしました。あれから 20 数年。最高の仲間と最高の時間。受験～就職という時の流れは決して順調ではなかったけれど、一つも後悔することはありません。いま最高の仲間と囲まれ、最高の先生達と出迎え、自分の子どもであり母校後輩でもあるみんなの頑張りに寄り添うことが出来る。正月から感動をありがとう。

Y 山主任、3 年間本当にありがとうございました。ラストスパート、ともに頑張っ参りましょう！みんなが笑顔になれるように、心からお祈りしています。

*今年も素敵なお激励ありがとうございます。中島みゆきさんの「ファイト」は遊佐高校に新任として勤めていた頃によく聴いていました。実は今でもこの曲の真意（意味）はよくわかりません。いつか、みゆきサンに会ったら聞こうかと思っています(笑)

新年の抱負 エントリー No.28 2018/1/5 PM 22:50

私が変われば世界が変わる

我が家の新年は、東京箱根駅伝から始まる。今年青山学院の 4 連覇となり、アンカーは山形南高出身の橋間選手だった。後のテレビ番組で高校時代の恩師が陸上部ではナンバーツーで、コツコツと努力をするタイプの選手であったことを話している。また、キャプテンの不調により当日突然走ることとなった橋間選手は、皆から胴上げを受けており、地道な努力は陸上部でも認められていたことを物語っている。努力は決して裏切らないことと、いつかは花開くことを実証してくれた。センター試験まであと少し、君たちの努力は決して無駄にはならない。そして、最後まで諦めない強い心が合格へと導いてくれる。

今から 30 年ほど前、私が一方的に慕っている恩師から「知っている事は、行わなければ意味がない。」という活学（実学）を学びました。現代社会はネット社会や AI により個人としての知識量は遥かに多くなりました。ただ、それらを実行することは少なくなり、世の中としては、すさんだ方向へ向かっていることは否めません。興譲の精神は実学を重んじる精神です。これから大学へ進み実社会へと踏み込んだ時、知っていることは実行してください。君たちは磨けば光る良識のある素晴らしい原石であることは、間違いないのですから。

人生には四つの階段があります。一段目は「自分のためのみに生きる」です。二段目は「自分が良くなることを通して他人をも良くする」です。三段目は「他人を良くすることを通して自分も良くなる」です。四段目は「他人の為のみに生きる」です。さすがに四段目はお釈迦様やキリストや興譲館の先生などの大聖人でしかできませんので、大変難しいのですが、私も興譲館の卒業生として、三段目に昇れるよう頑張りたいものです。

最後に、数学の三段論法です。私が変われば、日本が変わる。日本が変われば、世界が変わる。ゆえに私が変われば世界が変わる。 $A=B$ 、 $B=C$ 、 $\therefore A=C$ です。簡単な事ですよ。君たちには無限の可能性がある。選択できる未来がある。私が変われば、世界が変わる。という大きな心で 1 3 日・1 4 日のセンター試験に臨んでください、応援しています。

*いつも 3 学年を温かく見守り激励頂きありがとうございます。山形南は陸上の橋間君やラグビー部などの部活動も以前に増して頑張っています。実は同時に学びの力も向上しています。同じ両輪とする米興も負けちゃいけない。共に切磋琢磨しガンバロ！

新年の抱負 エントリー No.29 2018/1/6 PM 12:26

Y 山先生明けましておめでとうございます。お久しぶりです、島**です。

去年、学校にお邪魔した際には、思いがけず飲み会に参加させていただき、ありがとうございました。&ご馳走さまでした&とても楽しかったです。3 年 5 組で話をしたときにも申し上げましたが、私も勝手ながら学年通信を拝読しておりまして、いつも HP で皆さんの様子をチェックしております。さて、私も新生活になりますので、頑張りたいことを、米興 OB としても教員としても大先輩たる Y 山先生に宣言したい！、そして、3 年生に激励のメッセージをどうしても贈りたいと思ひまして、メールさせていただきました。年末年始で体調を崩しておりまして、気付いたら今になってしまいました。遅くなってしまつてすみません。。以下、本文です↓（裏面へ続く）

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

平成 25 年卒 OB の学年通信愛読者です。

今年から新生活が始まるにあたり、私も今年の抱負(スローガン)を宣言したいと思います。

『愛情・信頼・挑戦』です。

- ・深い【愛情】を持って生徒に接する。
- ・周りの人々を【信頼】し、そして、周りからも【信頼】してもらえる人間になる。
- ・何事にも【挑戦】し、失敗からも成功からも、学んだことをスポンジのように吸収する。

偉大な興譲館の先生方を手本に、頑張りすぎず、頑張りたいと思います。

さて、3年生のみなさん、いよいよ戦いのときです。不安や緊張、あると思います。しかしそれらは、実力以上の力を発揮しなきゃと思ったり、今の自分に自信がなかったりすると現れると聞きます。今の皆さんでも充分素敵ですし、今までの努力を思い出せば、それが自信となってあなたの背中を押してくれるでしょう。皆さんと授業ができて、一緒に山でも勉強できて？本当に良かったと、皆さんとの出会いに感謝しています。皆さんの頑張り、そしてこれからの活躍をずっと応援しています。フレー！フレー！KOJO！！新潟より、愛を込めて。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

以上です。最後に、Y山先生も超人的な方だとは思いますが、ご自身の体調などもぜひ気を付けてくださいね。先生が元気であることが、3年生の元気の源でもあるはずです。センターまでに山形には残念ながら帰れないのですが、3年生の卒業までには、もう一度会いに行きたいと思います。それでは。

Dreams Come True 39 2018/1/6~8

実は前号にて抱負は終了かな？と書いていたのですが、その後ゴールド会員の方々から次々とお便りを頂きこのたびの掲載となりました。ありがとうございます。No.27のお父様が中島みゆきについて書かれておられたので久々に「ファイト」を聴きました。私はこの歌詞の中で「私の敵は私です」というフレーズが好きです。頭にきたとき、他人のせいになりたいとき、悲しみにくれるとき、ときに世の中を嘆くときに「私の敵は私です」と思うようにしています。このフレーズの意味や歌詞全体についても正直言って理解できていません。それは中島みゆきの曲全てに言えることですが……。どのような思いが込められているのか、なぜこのような言葉と言い回しなのか、などを考えてみるのですがわかりません。以前書いたように私は「分類好き」です。様々な事象をカテゴリーに分ける癖があります。溪流釣りが好きなのも岩魚の個体差への興味ですし、漫画も作家さん相互の関係性などのバックグラウンドへの興味であったりします。「ヒト」へも同様で、特に後天的に身につけた資質による分類を無意識にしていまいます。このようなことを嫌だと思ふ人もいるかもしれませんが。私自身もそうでした。しかし、多かれ少なかれ人間関係はそのような行為の繰り返しだと思うのです。「何であんな男を好きになったのだろう」と後悔しても、結局次も同じような男に惹かれてしまう？そのようなことです。ですから私は3年生諸君のことは見えています。その表情や歩く仕草にも「人が」現われるからです。ついでながら？保護者の方のことも結構見えています。直接お会いすることは少ないのですが、欠席や遅刻のお電話を頂くときのお声やご対応からわかることも沢山あります。ここまで書くと「学年主任ちょっと変態でね？」と不快になられるかもしれませんが。

が、教員という仕事ではこのような「人への興味」は必要であり様々な対応の一助ともなるのです。増してやオッサンはこの年で変わりようがありませんから我慢して下さい。コレも縁です。少し話が反れたのだけれど、中島みゆきに属するカテゴリーが私には無いのです。「こういう人だ」という終着点があるけれど、中島みゆきに属するカテゴリーが私には無いのです。「こういう人だ」という終着点があるけれど、中島みゆきに属するカテゴリーが私には無いのです。だから偏執的に拘る私も彼女だけは、理解できないと諦めているのです。ゆえにずっと惹かれてもいるのです。もし、みゆきさんがこのHPを閲覧されていたらご一報お願いします。ほんの少しでいいのでお会いお話できたら幸いです？

今回のシリーズでは何人かの生徒諸君が苦しい胸のうちを明かしてくれました。大変勇気の要ることだったろうと思います。ありがとう。しかし、このように書き自分を晒すことで吹っ切れるものや次へと進むきっかけになることもあります。高校時代は最も多感な一時期です。誰もが様々な思いに揺れながら過ごしています。私もそうでしたし、日々諸君が接している先生方もご両親も同じだったと思うのです。少しだけ今と昔の違いがあるとすれば「表現する場があるや無しや」かもしれません。昔はスマホもインターネットもありませんでした。情報を得る場や自分を発信する場が極めて少なかったと実感します。それゆえに他者と会い話すことが「直接的」には唯一の手段だったのです。ですから私達世代は外へ出て踊り歌い飲み遊んだのです(ということにしておこう?)。間接的には深夜ラジオや好きな歌手の歌を聴くことです(もちろんレコードよ)。そのように限定されていたがゆえに一体感を持てた時代だと思ひます。今は本当に便利です。誰とでも、その場いながら話せますし思いも伝えられます。また、ネット上には自分を発信するためのフィールドが無限にあります。この通信は「米興 HP で」見て頂けることを実は期待しています。そういう意味で No.28のお父様、No.29の**光君に届き読み返信頂けることは無上の喜びです。それは誰でも今すぐに世界中に発信できることは革命に近い革新だと実感します。ホント世界は狭くなりました。それにより「私達は同じ星に住む地球市民」という一体感がさらに増すことに期待しています。反面、他者と直接的会うことも無く「済んでしまうこと」やネット上に「住んでしまうこと」を恐れます。私も1990年初頭のパソコン通信やインターネット黎明期には徹夜することも常でしたのでよくわかります。一種麻薬のようにハマる世界がそこにあることを。しかし、あまりにそれを過大評価し神聖化することは危険だと思うのです。それは所詮「誰かが作ったモノやで」位の軽い気持ちで受け止めて欲しいのです。中島みゆきを崇拝する私が言うのもなんですが。人も同様です。素敵な人に出会ったとき「イイな」と感じる心は大切ですが、ですが、あまりに過剰なのはどうかとも思うのです。過剰は若さの特権なので今はそれでいいのです。私は未だ過剰ですから。しかし、少しだけ経験を重ねたオッサンの老婆心からです。それと「本当に素直で真面目な諸君」だからです。そのことは責められる要素では一切ありませんし、かけがいのない財産だと思います。けれど、世の中そのような心持ちの人ばかりではありません。直接お会いできればまだいいのだけれど、ネットでは心にも無いことでも何でも勝手に言えますから(学年通信で私が放言するのと同じだよ)。あらでも今回はこんな予定では無かったのに。でもいいか。諸君に話せるのもあと数度のことだから。よくわかっていることでも繰り返し伝えないとね。「交通事故には気をつけて」と同じですね。さて、今週の週末は待ちに待ったセンター試験。まずは「受験できる」ように心と体への気配りをする。必要なものは全て「ZIPファイル」に入っているので、あとは筆記用具があれば大丈夫。どんな問題か心配？それは日本全国50万人の受験者誰しもが思うことだけれど、俺達は違うよな。「人が作った問題で必ず答がある」と知っている。人の心を変えるより簡単。気楽に行こうZ！**結**